

令和3年度第5回経営協議会議事要録

日 時 : 令和3年11月18日(木) 13:30 ~ 14:52

場 所 : Web会議(事務局棟1階大会議室 ほか)

出席者 : 小川 久雄、富澤 一仁、大谷 順、宇佐川 毅、有松 正洋、林 一郎、谷 時雄、
山縣 和也、甲斐 隆博、桑野 幸徳、郷 通子、崎元 達郎、平田 雄一郎、田嶋 徹、
芳賀 義雄、福島 絵美、古荘 文子、吉丸 良治

欠席者 : 馬場 秀夫、村田 信一

陪 席 : 宮尾 千加子、園田 隆則、立石 和裕

報告連絡

1. 寄附講座の一部変更について

議長から、資料1に基づき、次のとおり寄附講座の一部変更を行うこととなった旨報告があった。

○ 病院「地域医療・総合診療実践学寄附講座」の一部変更

変更内容: 担当予定教員に特任助教相当を1名追加、

寄附者に地方独立行政法人くまもと県北病院を追加(令和3年度半年間のみ)

2. 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

議長から、令和2年度に係る業務の実績について、11月1日付けで国立大学法人評価委員会から評価結果(原案)の通知があった旨報告があった。

次いで富澤理事から、資料2-1・2-2に基づき、評価結果(原案)の概要等について説明があった。

3. 令和3年度上半期資金運用報告について

事務部から、資料3に基づき、令和3年度上半期資金運用について報告があった。

4. 令和2事業年度財務諸表の承認について

議長から、令和2事業年度財務諸表について、8月31日付けで文部科学大臣から承認された旨報告があった。

次いで事務部から、資料4-1・4-2に基づき、各財務指標の分析結果等について説明があった。

(◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

◇ 財務分析では、他大学に比べ教育経費の割合が低いことから、教育以外に重きを置いていると見られかねないため、工夫いただきたい。

- ◆ 財務諸表は、経年比較という面から継続性も考慮する必要がある。本学の状況を再度確認し、対応を検討させていただきたい。

5. 災害に伴う入学検定料、入学料及び授業料免除の実施について

宇佐川理事から、資料5に基づき、令和3年7月1日からの大雨及び令和3年8月11日からの大雨による災害により被災した学生への入学検定料等の免除に関する特別措置の実施を決定した旨報告があった。

意見交換

1. 本学における地域連携の最近の取り組みについて

甲斐副学長から、資料6に基づき、熊本創生推進機構における地域連携活動の取り組みについて説明があり、種々意見交換が行われた。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

- ◇ 大学は「客観性」「科学性」「方向性」をもって連携に関わっていただきたい。また、資源は加工することによって、新たな価値が生まれることを意識し、プロジェクトを推進していただきたい。
- ◇ 本プロジェクトは非常に魅力的で熊本の発展に繋がると思われる。積極的に推進いただきたい。
- ◇ 情報発信の際は、関心のある人のみならず幅広く発信するようにすると、一般市民の関心も高まり、より効果的だと思う。
- ◆ 地方創生に関する情報発信のためのホームページを作成中である。また、広報の重要性は理解しているので、報道機関等も活用しながら情報を発信していきたい。
- ◇ 企業が奨学金を負担し、学生の修学や研究を支援できる制度はあるのか。
- ◆ 自然科学教育部には、企業との連携下、本学教員と共同研究に参画し、学位取得後に当該企業に就職するような教育プログラムを実施している。
- ◇ TSMCが熊本に半導体工場を建設することとなり、人材の育成と供給が期待されている。半導体に関係する企業も含めて長期的な人材育成等について、考えを共有していく必要がある。

以上

○ 次回開催：令和4年1月20日（木）学長選考会議終了後

<配布資料>

資料 1 寄附講座の一部変更について ほか

- 資料 2-1 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果国立大学法人熊本大学（原案）
- 資料 2-2 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）整理表
- 資料 3 令和3年度上半期資金運用実績報告 ほか
- 資料 4-1 令和2事業年度財務諸表の承認について（通知）
- 資料 4-2 財務分析（財務指標の推移）〈令和2事業年度〉
- 資料 5 熊本大学災害に伴う入学検定料・入学料・授業料の免除取扱方針 ほか
- 資料 6 熊本大学を核に持続可能な地域未来と地方創生人材を共創するローカルプロジェクトアカデミー